

教職員自己紹介

下川 俊彦(しもかわとしひこ)

社会情報システム学科・助教授

3才の時から、大学にはいる前まで長崎で過ごしました。コンピュータ(計算機)に興味を持ち大学に入学しました。しかし、あまり計算機とは関係のない講義も多く、そういった講義になかなか興味を持てず当時は苦労しました。就職した後で、それらの講義から得られたはずの幅広い知識を身につけていないことに気が付き、ちゃんと受講していなかったことを後悔しました。



大学の4年次くらいから分散処理に取り組みはじめました。複数の計算機をネットワークで接続し処理を行うのに興味を持ったからです。また、このころ初めてインターネットに出会い、国内外の幅広いインターネット関係者とも知り合うことができました。

平成4年に九州大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程を修了し、(株)東芝に入社しました。東芝では、総合研究所情報システム研究所に配属になり、様々な分散システムの研究開発に取り組みました。サーバシステムの開発や携帯型クライアント機の開発など、幾つかのプロジェクトに関わることができました。研究成果が直接製品化されることがなかったのは残念です。

平成9年9月に東芝を退社し、同年10月に九州大学大学院システム情報科学研究科に助手として着任しました。このころから、主としてインターネットに関する研究に取り組んでいます。

平成14年4月に、九州産業大学情報科学部社会情報システム学科に着任しました。担当する科目は、情報リテラシー、同演習、プログラミング基礎、同演習、インターネット工学等です。講義以外には、他の先生方と一緒に、情報科学部内の計算機ネットワークシステムの運用も担当しています。

広域分散システムであるインターネットには沢山の計算機が繋がっています。しかし、インターネットの本当の役割は、それら計算機を繋ぐことではなく、その先にいる人と人を繋ぐことだと思います。こういった、ネットワークの面白さを、講義の中で伝えていきたいと考えています。

相 利民(そう りみん)

社会情報システム学科・助教授

本籍は中国江蘇省高郵市 (<http://www.gaoyou.gov.cn>) です。1982年に南京大学 (<http://www.nju.edu.cn>) 計算機科学部を卒業して、理学学士号を得ました。1982年に、四川大学 (<http://www.scu.edu.cn>) 計算機科学部の助手、1987年に講師、1993年に助教授になりました。『離散数学』、『論理回路』、『プログラミング』、『データベース』の講義を担当しました。1988年に電子科学技術大学 (<http://www.uestc.edu.cn>) から工学修士号を得ました。1999年に九州大学 (<http://www.kyushu-u.ac.jp>) から情報科学博士号を得ました。2001年に、九州産業大学・情報科学部設置準備室の助教授、2002年に九州産業大学・情報科学部・社会情報システム学科の助教授になり、現在に至ります。主な担当する講義は『離散数学』、『離散数学 演習』、『離散数学』、『離散数学 演習』です。興味のある研究分野は並列・分散計算及びアルゴリズム設計と解析です。最近6カ年間に20編以上の研究論文をIEEE Transactions on Parallel and Distributed SystemsやThe Computer Journalなどの国際学術誌およびITCC(スポンサー:IEEE Computer Society)やPDCS(スポンサー:IATED)などの国際会議で発表しました。名前がAmerican Biographical Instituteの『Great Minds of the 21st Century』とInternational Biographical Centreの『One Thousand Great Asians』にリストされ、プロフィールがMarquis Who's Who出版社の『Who's Who in the World (the 18th Edition 2001)』と『Who's Who in Science and Engineering (the 6th Edition 2002~2003)』に収録されました。

